

ゆるりと起業

— 住み開き・既存店活用の事例に学ぶ —

「事業を始めたいけど、どうすればいいのだろう？」

「自分にも出来るだろうか・・・？」

実は、起業の一步を踏み出した人の中には、週 1 回だけの事業や、自宅の一部を開放する等、無理なく事業をスタートさせた方もいらっしゃいます。

そのような 2 つの体験談を講師から聞いた後は、参加者の皆様が、ご自身の経験や持てる資源(強み)を活かし、不足している資源(弱み)を補完する術をコーディネーターと一緒に考えます。

起業に関心のある方はもちろん、働き方を考えてみたい方、地域貢献にご興味のある方等、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

事例報告①

「住み開きカフェの開業」

五味 真紀 氏

「住み開き café ハートフル・ポート」代表

事例報告②

既存店の定休日を活用した週1回の

「ごはん屋の開業」

中川 陽子 氏

「すきま食堂 ごはん屋MOGU」代表

質疑応答・意見交換

「地域資源を活用した 事業興しを考える」

コーディネーター: 為崎 緑 氏

中小企業診断士

公益社団法人けいしん神奈川会員

平成 29 年

9月30日(土)

14:00 ~ 16:00

神奈川県立図書館

新館 4階セミナールーム

無料

定員 40名

応募者多数の
場合は抽選

募集期間 平成 29 年 8 月 16 日 (水) ~
9 月 13 日 (水) 必着

申込方法 ①講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな)

④電話番号を明記のうえ、
メール、往復はがき いずれかの方法
によりお申込みください。

締切後、お申込みいただいた方法で受講の可
否を返信します。

申込宛先 神奈川県立図書館 調査相談カウンター

メール 県立図書館のホームページから
フォームメールにより受付けます。

往復はがき 〒220-8585

(住所省略可)

右の二次元コードから県立図書館のホームページに
アクセスできます



講師紹介

五味 真紀 氏

「住み開き café ハートフル・ポート」代表

介護していた義母を看取った後、「住み開く」という言葉に出合ったことがきっかけとなり、1階の空き室をリフォームしてカフェを開業。料理自慢のスタッフが作るランチが口コミで広がり、オープンから3年で約1万人が来店した。人をつなぐ場、夢が実現できる場、学び合いの場など、様々な想いを受け入れる入口としてのカフェを目指している。昨年始めた多世代が一緒にご飯を食べる『みなと食堂』に加え、今年は認知症カフェ『みなとの茶店』を地域の人主体でスタート予定。

中川 陽子 氏

「すきま食堂 ごはん屋MOG U」代表

難病罹患の経験から、食の大切さを感じる中で、地域の中・高校生の孤食や不規則な食事に問題意識を持つ。そこで、子どもの学童のママ友メンバーで、既存店の定休日を利用し、週1回の「ごはん屋」を開始。昼食、夕食も提供しており、部活や塾の前・終了後に子ども、親子が食事をしたり、仕事帰りの单身サラリーマンも立ち寄り。スタッフは有償の働きとし、持続可能な仕組みを目指す。

為崎 緑 氏

中小企業診断士、公益社団法人けいしん神奈川会員

「共に考え、共に動く」を信条に、経営コンサルタントとして商業分野やソーシャルビジネス分野における創業支援、創業後の市場開拓・顧客開拓等のアドバイス、商店街・地域活性化支援などに携わっている。また、神奈川県「かながわボランティア活動推進基金 21」の幹事などを務めているほか、専修大学K Sソーシャルビジネスアカデミーの教員として7年間教壇にも立った。

交通案内

JR・市営地下鉄

桜木町駅より徒歩10分

京浜急行

日ノ出町駅より徒歩13分

みなとみらい線

みなとみらい駅より徒歩20分

駐車場（有料：普通車30分200円）がございますが、なるべく電車・バス等でご来館ください。

横浜市営バス

103系統（横浜駅東口始発）
「戸部1丁目」下車徒歩5分

「桜木町駅前」経由の系統
（横浜駅東口始発）ほか
「紅葉坂」下車 徒歩7分

神奈川県立図書館

〒220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

お問合せ：調査相談カウンター ☎ 045-263-5901

神奈川県立図書館

検索

